

議会報告

改選後初の、6月度定例議会におきまして、一般質問をさせていただきました。
主な内容をご報告させていただきます。



被災者支援システムについて

質問	答弁
被災者支援システムは、住基情報、家屋台帳、被災状況をリンクさせて罹災証明書を発行でき、支援金や義援金の交付、支援物資の管理、仮設住宅の入退去など一元的な管理ができる。導入すべきだと思うが見解を聞く。	早期の導入を目指していく。

待機児童の解消について

質問	答弁
保育所の民営化は、経費削減という効果と、削減した経費を待機児童解消のための整備などに回すことができ、待機児童の解消に寄与できる。実施時期や実施園など、具体の年次計画をいつ示すのか	今示している公立保育所の民営化（平成16年・宇山保育所、24年・蹉跎保育所、25年・小倉保育所）以外、4か所目以降の実施時期や実施園などは今年度中に示す

新市民病院について

質問	答弁
女性特有の乳がん・子宮頸がん検診について、女性医師・女性技師のさらなる確保を要望、また、がん治療の経過の中で精神的なケアもできる体制を	女性医師の配置に努めるとともに、精神症状の緩和を担当する医師の確保についても努力する。

がん教育について

質問	答弁
今後、2人に1人ががんになる時代を生き抜く子ども達にはがん教育が必要。日本対がん協会からDVD「がんちゃんの冒険」が制作された。中学3年生希望者には無料で配布されるが本市においても活用してはどうか	「がんちゃんの冒険」は啓発活動に有効である。各中学校の導入の仕方について検討していく。

(仮称) ヒラカタ大学について

質問	答弁
まちづくりに市民が直接参加する事はとても重要であり、特に若者が参画し、その核になって市民を巻き込みながら、自分たちでまちの未来を築いていく、以前に紹介したシブヤ大学ならぬヒラカタ大学のように発展させていってはどうか、また自治基本条例の制定について見解を聞く	コミュニケーション・カフェや五六市など学生や若者が参加しやすい仕組み、環境づくりを若者の意見を聞きながら検討していく。また、本市は中核市を目指しており、市民の意見を施策に効果的に反映させることが重要であり、その為にも自治基本条例の制定について検討していく。

BCP（業務継続計画）について

質問	答弁
地震や水害、新型インフルエンザのパンデミックなど、大規模な災害や不測の事態が発生しても、企業や団体が重要な業務を早期に復旧し、継続できる体制を整えるために策定される計画。本市のBCP策定の見解を聞く	地震対策に係るBCPについては、平成22年から大阪府が呼びかけたワーキングチームに参画し、調査・研究を進めていく。

公立学校の防災機能の向上について

質問	答弁
学校施設は地域住民のための避難所ともなる大事な役割を担っている。本市の公立学校施設の防災機能の整備状況について伺う。また分散備蓄・備蓄量の完備の要望	本市の災害用備蓄品は、平成20年度に見直した地域防災計画に基づき、アルファ化米や毛布等の重要物資8品目の備蓄目標量を定め、21年度から5ヶ年計画で購入していたが、今回の大震災を踏まえ、今年度中に備蓄目標量を確保することとした。また、避難所運営のために、当面必要と考えられる発電機や投光器などを緊急に確保していく。

ひきこもり対策について

質問	答弁
ひきこもりは2030年問題として、専門家が警鐘を鳴らしている。全国推定約70万人いるとされ、枚方市においては約2200人と推定される「子ども・若者育成計画」を策定し、早急に訪問支援など取り組みが必要と考えるが見解を聞く。	市内の関係機関が協力・連携するための本市独自の協議の場を設立する。できるだけ早期に「子ども・若者計画」を策定する。

その他、CSR（企業の社会的責任）について・乳幼児医療費助成について・多胎児支援について・デイジー教科書について・動物と共生するまちづくりについて・シルバーパワーを生かした地域活性化の取り組みについて公共料金の支払いについてなどについて質問しました。